

CASBEE®新潟 | 評価結果 |




■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

建物名称	新潟みずほ園	
建設地	新潟県新潟市西区藤野木字川原51、27-3、35-2、35-3	
用途地域	都市計画区域、市街化調整区域	
建物用途	病院,	
竣工年	2026年3月 竣工	
敷地面積	14,262.43 m ²	
建築面積	2,481.12 m ²	
延床面積	2,670.04 m ²	
階数	地上2階建て	
構造	RC造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2023年9月19日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{45.8}{40.4} = 1.1$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	平均スコア 3.7		バリアフリー計画	Q2.1.1.3	3.0
			維持管理	Q2.1.3	5.0
			設備の更新性	Q2.3.3	3.2
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	平均スコア 3.3		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	3.6
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	平均スコア 3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 4.5		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1	5.0
			自然エネルギー利用	LR1.2	4.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 4.3		節水	LR2.1.1	4.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4	4.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	平均スコア 1.0		生物環境の保全と創出	Q3.1	1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	1.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	平均スコア 3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

重点項目配慮として以下を取り入れた建物としています。

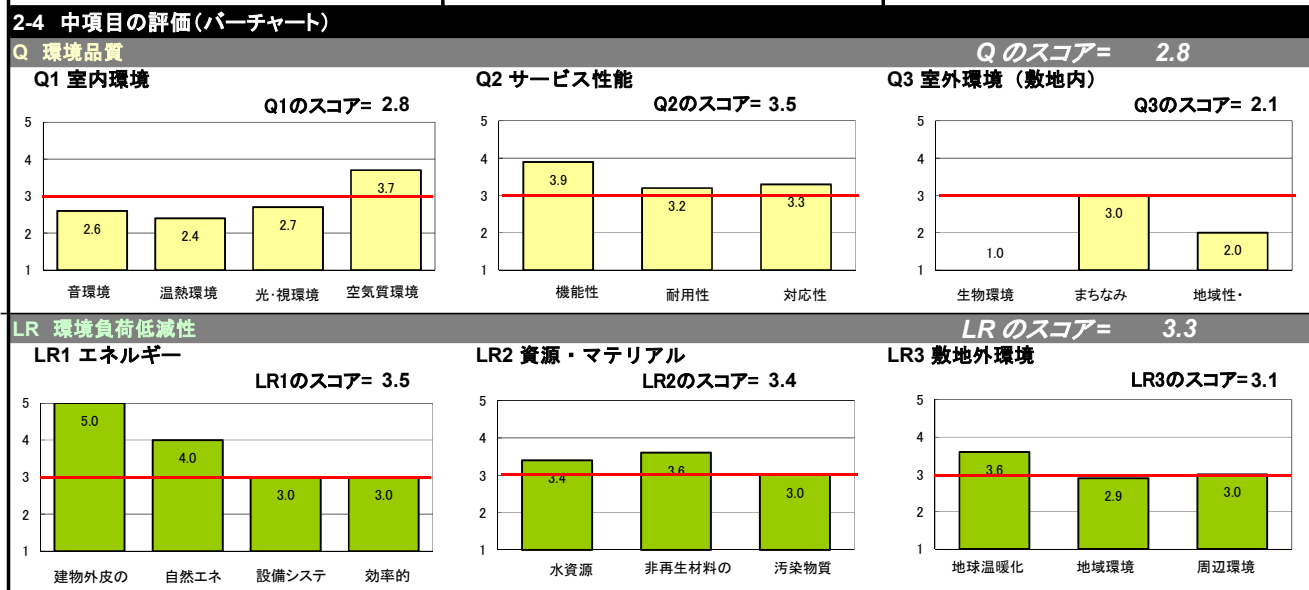
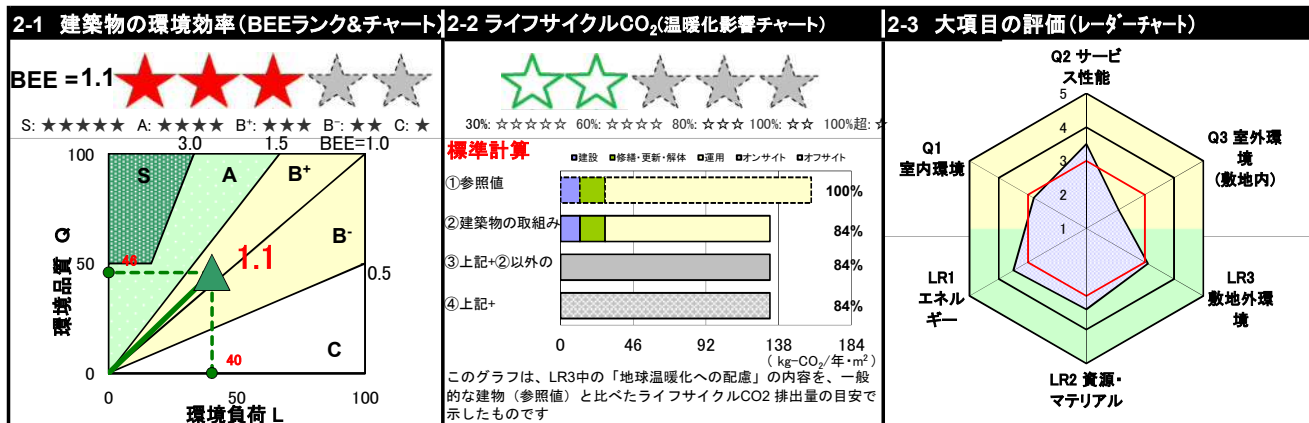
4.自然エネルギー利用の取組みとして、断熱材を適切に配し、窓ガラスには複層ガラスを採用しました。建物外周には庇を設け、直射日光が入りにくい構造としました。

CASBEE®新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築) 2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新潟みずほ園	階数	地上2階建て
建設地	新潟県新潟市西区藤野木字川原51、27-3、35-2、35-3	構造	RC造
用途地域	都市計画区域、市街化調整区域	平均居住人員	XX 人
地域区分	5地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 竣工	評価の実施日	2023年9月19日
敷地面積	14,262 m ²	作成者	齋藤杏華
建築面積	2,481 m ²	確認日	2023年9月21日
延床面積	2,670 m ²	確認者	野沢道行



3 設計上の配慮事項		
総合		
障害者支援施設として、入居者や職員の方々が安心して快適な生活が送れるようにバリアフリーに配慮。明るく使いやすい空間構築として容易な歩行や転倒防止のための滑りにくい床材、ハイサイドライトを設け自然採光、自然換気を取り入れた安心感と安らぎを与える施設としました。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
建材にはF☆☆☆☆を全面的に使用し、シックハウス対策を徹底しました。 また、建物外周部に庇を設けることで夏期の直射日光を遮り、空調負荷の削減をする計画としました。	居住者の居室については2.5mを確保し、居住環境の快適性の向上、空調・給排水配管の長寿命化、空間のゆとり確保による対応性の向上、配線の更新性の向上に努めました。	建物形状や色彩を街並みに溶け込むように努めました。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
省エネ対策として建物の断熱材を適切に配し、窓ガラスは複層ガラスを採用しました。建物外周は庇を設け、直射日光が入りにくい構造にしています。	省水型機器(節水型機器)を採用することにより、水資源の保護に努めています。	地球温暖化を抑制するため、ライフサイクルコストCO ₂ 排出の削減に配慮しました。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される